

□れんさいずいそう VI

# 元町哀愁

林田重五郎  
〈随筆家・写真も〉



箱に植えた緑の木で町を飾る風習は普通り

あいつは元町を、端から端まで、這うていった——というウワサが立ったことがある。神戸好きが度を越しているの、こんな話になったらしい。一キもあるのに這うのは無理だ。事實は、若気の上に、アルコルもはいつていた宵、数十杯を腕立て伏せで行進しただけのことである。それでも手の平はよごれたし、ズボンが一本、台なしになった。

元町は、いまもそうだが、昔から夜が早い。日が暮れると、大戸を閉じる店がふえる。いまのようにシャッターではなく、材木の戸ばかりだった。まだ夜も浅いころおい、通りには人影も少く、鈴蘭灯だけがズットと並んでいる。アスファルトの舗装は、やわらかく、しっとりして、ホコリも目立たず、潤うて見える。元町が最も美しい時間である。

三、四人連れ立ってカフェから歩いての帰り、ついホフクする始末になったまでである。

それにしても鈴蘭灯は懐しい。突き出た腕から弧を描いて八つの電灯が、スズランの花のように行人を両側から包んだ。花の弧は、彼方まで続き遠くでは重なり合って、通りのカーブで消えてゆ

く。

今のアーケード式も、雨の日など特に有難いが昔もよかった。おそらく当時、日本一の好ましい商店街ではなかったかと思う。銀座は電車が走っていたし、心斎橋筋は短かく、また幅がせまい。自転車さえも下乗させられる元町は、散策者の天国である。

春は約一カ月間、サクラが箱植えで運ばれて来



元町三、四丁目の間からポートタワーが望め港の風が吹いてくる

て、鈴蘭灯下の夜ザクラになった。二百数十本を箕面から取り寄せたとあるから、鈴蘭灯の数も、そんなものであったのかも知れない。花見売り出し、そして散ったあとは、運賃、箱代とも一本二円のサクラが、一円で売れて行った。昭和十一年の春である。初夏には、同じ形式で、青竹の箱が並んだ。これまた季節が終ると売り払われたが、昭和十年には、榎並充造さんが一手で買って下さったとある。

この鈴蘭灯も、あの戦火で消えた。神戸が米軍に焼き払われた朝、心配しながら駆けつけて見ると、元町も店々はほとんど消え、アスファルトは泥と炭とで、足のふみ場もなかった。涙も出ないとは、あの朝の元町に立った感慨であった。

バラックから軽装の商店街へ、年とともに復興——それでも戦前からの馴染みの商店は現在五〇名くらいであろうか。戦後有名になって、いまだ元町の看板のようになっている店もあるにはあるが、やはり昔からゆきつけの店はなんとなく安心感があるから、当方も年をとったのかも知れぬ。

例えば一心太助をタスケイッシンとしたような古い店、おそらく初代が走水村の時代に出て来て、西洋人のマネをして、こんな店名をつけたのではなからうかと、開港時代もしのばれて面白い。そして洋画材料店のBさん、ショートケーキのうまかったFさんなどの店が姿を消したのは、元町愛好者にとっては、まことに残念である。



外人バーも並ぶ元町の露路

トまでで五百円という安さも普通り。おそらく最も神戸らしいグリルであろうか。



元町一、二丁目の露路、かわらぬものは外人バーであろうか。三人で満員のカウンター、テーブル二、三。客筋は船員が多い。あらゆる人種。

転変はなほだしい中に、グリルさんが昔の風のままで栄えているのは有難い。元町の東入口から間もない露路を山側へはいったところに昔の店があった。石段を三、四段あがった五、六卓の小さな店。よろい戸があつてパリの下町のようにだつた。

昼食八十銭、夕食一円、それでオードブルからデザートまで一揃え出る。その上、味がすばらしい。特に店で作るフランスパンとスープがうまかつた。わたしは夕食も終るころに石段を上るのを常としていたが、そのころには主人がキッチンから現われて、うまそうに杯をあげていた。

二十年たつて、元町二丁目の小路を南にはいったところで、その名を見つけ、家族とはいふともう七十歳を越した主人に会えた。そして再訪を始めてからでも十年以上になる。老主人はなくなつたが、夫人は健在であり、オードブルからデザ

「ユウ・ツー・マッチ・ドリンクね。ツィナイト・ストップ、ツィモロ、カムバックね」

愛嬌のあるママさんの英語、外人船員には故郷へ帰つたように懐しいらしい。「ママさん行って来ます」船を追つて横浜へ、ホステスが夜行列車に乗る。ママさんにドリンクをおごれば、逆におごり返してくれる。社用の客は一人もいない。店は小さくても、すがすがしい……普通りだ。

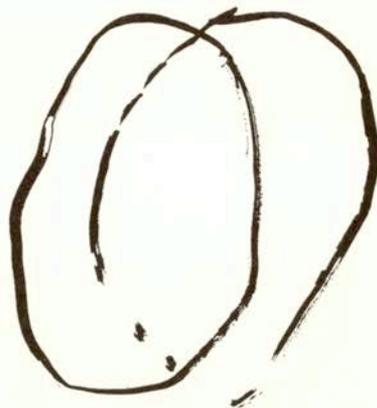


戦後元町は西の方が昔よりさびれたとよくいわれた。しかし花隈駅や西元町駅の新設で、いまは人通りも多い。そして重厚な店が目立つように思える。

東の方も改築で面目が変わろう。「元町を這つた男」は、移りゆく元町の姿を、これからも楽しみたいと切願している。

# 思い出の 神戸

森 田 た ま  
え・津 高 和 一



あ

神戸のことを書こうと思うとあんまり思い出が多すぎて、その思い出が一せいにひしめきあい、私のことを書いて下さい、いや私の方をさきにと押しよせられるような心地がする。住んだことはないのだけれど、阪神西宮の夙川べりに暮したころ、私はまだ三十代であったが、気がふさぐとよく神戸へ出かけて行って、何の目的もなく元町通りをただぶらぶらと歩くくせがあった。三宮だっただと思うが、そこにフロインドリーブという西洋菓子のお店があって、その店の椅子にぼんやり腰かけていたこともあった。京都でも大阪でも満たさ

れない何かが神戸にあったのだが、それは一体なんだっただろう。

一昨年の春、私たちは関西旅行を試みた。長女と孫二人は自動車で先発し、老夫婦は新幹線で行って神戸で落ちあい、そこを起点として大阪、奈良、京都の花をたづねようというのであった。最年少の男の孫は高校一年生である。母親の長女が西宮にいた時は女学校一年生であった。大手前に通っていたが、日曜には神戸へ行って、元町裏のどこかで支那まんじゅうを買って来た。

「おいしかったわ、あの店いまでもあるかしら」

ホテルへ着いて、見物のプランをたてる時思い出していうと、孫が早速応じた。

「それを買に行こう。それから青辰のおすしをたべて、貝弥のかまぼこ持ってかえるんだね」

「花を見に来たのよ、食べに来たんじゃないのよ」

「いいじゃないか、花より団子っていうじゃないか」

孫は熱心に主張したが、あいにくその翌日青辰は休みであったし、裏町の支那料理屋をさがすのは面倒であったし、かまぼこは一週間も旅行するのだからとことわられて、結局花見だけとなり、あく朝私たちは垂水まで自動車をはしらせた。

それほど期待しなかったのだが、思いがけなく垂水の桜は実にうつくしかった。べつに名所といつてあるわけではない。民家の軒に枝をさしのべた花々が、八分咲きというところであろうか、朝陽を受けて輝くような花びらが重なりあい、かほせい緑の茎に身をゆだねて、あるかなきかの風に揺られている風情は、ふと、うらうらに照れる春日に雲雀あがりと、万葉のむかしを思い出させたそこに住む人はみんな幸福そうに思えた。

神戸の町へもどって海岸べりを走っていると、明治初年につくられたらしい木造の、大そう古風な洋館が建ちならんでいる一劃へ出た。中には窓の戸をびったりと盲目のように閉じた、建ちぐされらしい洋館もある。あ、これだったと私は気がついた。むかし私を神戸の町へ惹きつけた要素はここにあったのである。古風なハイカラさ。それは京都にも大阪にもないものだった。横浜ともちがっていた。横浜にも居留地はあったが何となく

一つところにかたまっているという気がされた。神戸はちがった。町全体が外国へむかって開いているという感じがした。

町の中に住む人はそうでなかったろうが、和菓子のようにきれいな京都や、活気に満ちた大阪から来ると、神戸はしつとりと落着いた、そうして誰に気がねもなく、自分の好きなように振舞える町だと思われた。因襲や習慣にとらわれなくともよい町のように思われた。北海道生れの私は、関西へ来て、神戸の町でやっと安心の息をついていたのであった。

私の追想などにかかわりなく車は走って、やがて六甲の山へのぼりはじめた。あその六甲ホテルにもさまざまな思い出があるけれど、それは全部夏で、春の六甲山ははじめてである。桜はなくその代りに、あしびが至るところにあの鈴のようなかわいい花を咲かせていた。あしびは奈良にあるものだとばかり思っていた私はすっかり驚いた。もっともうちの小庭にも一本あって、三月はじめから咲いていたのだけれど、箱根の山にもあったのだけれど、六甲山のあしびには何となく驚かされた。

いま秋。六甲の山は紅葉にいろどらられているであらうか。あの山の上にひろがる大空の果てしない広さ、青さ、そうして眼の下に遠く眺める神戸の港の青い海、林立する汽船の白いマスト。寝ている私の枕頭に、ポオオと長くあとをひいた汽笛が通ってくるような心地がする。病気が恢復したらもう一度神戸の町をたずねよう。きつとたずねようと思う。

△随筆家▽

## 声 楽 雑 感

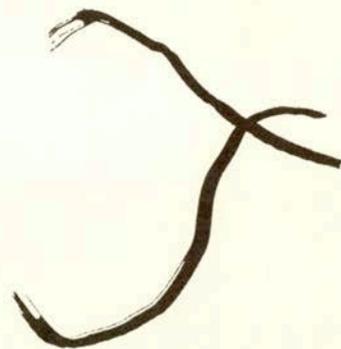
樋 本 栄

え・津 高 和 一

いつか自動車の部品を盗まれて警察へ行ったが、そのとき警官に「職業は？」と聞かれて「声楽家です」と答えたら「セイガク？それは何ですか」と問い返された。「歌を唱う声楽です」といったら「ハア？」となおもげんな顔つきなので面倒くさくなって「音楽大学教授です」といった私は関西歌劇団でオペラをやっているから「オペラ歌手です」ということも出来るが、一週間の半分も勤めている音楽大学の教授、つまり教育者という職業が本当なのかもしれない。だが私はやはり「オペラ歌手」とか「声楽家」のつもりでいることの方が多い。ただ「オペラ」は、日本では欧米のようにオペラ劇場がなく、年間僅かの公演しか出来ないのだけれど、私の毎日の日課はやはり発声練習であり、歌の練習である。学生のレッスンをしているのも、これは自己の練習と意識的につけているのである。こんな風だから、つい「私は声楽家です」といってしまったのだろう。

さて「声楽」だが、他の器楽などと比べて最も難かしいものだと私は思っている。器楽はバイオリンが一番難かしいといわれるが、成程バイオリンは声のように直ぐに音が出ない。声は生れた時から出るし、歌は教えられなくても聴きまねでも唱える。しかし、だからこそ他人に聴かせるには常人以上でなければならぬ。そして、器楽では世界的な名人はほとんど男性（女性のバイオリニスト、ピアニスト、指揮者は男性に劣るようだ）であるのに、声楽だけはソプラノのような高音は女性でなければ絶対出来ないだけに尚更それら男性に互して劣らない力を持たねばならないということになる。

器楽といえばバイオリンは絃と弓とを擦り合せて音を発し、立笛の類は葦などの植物性のリードを息で振動させて発音するし、横笛やラッパは息で振動する唇が発音帯となっている。絃楽器の奏者は常に絃や弓をとり替えるし、立笛の奏者は



カ

ードを自分で造るのを日課としているくらいだ。

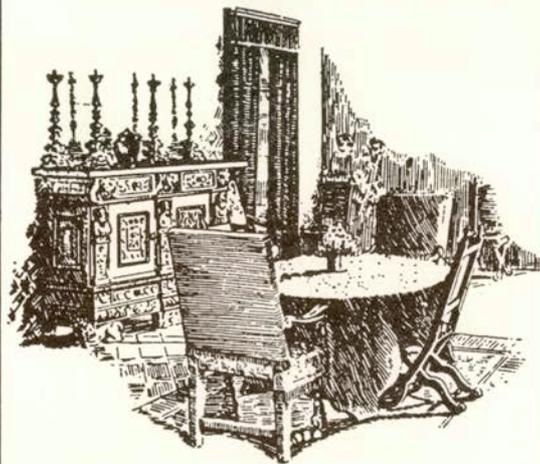
声楽の場合、発声帯は声帯である。この声帯は生れつきのもので、人間の顔が各々異なるように各人違っている。バイオリンの絃がスチールのもあればガット（羊の腸を加工したもの）もあるように、声帯もガットやスチールのように生れつき違っているのだ。太い声、細い声、高い声、低い声、しわがれ声などいろいろあるが、生れつき「きれいな声」といわれる人は声楽家としての素質があるので、生れつき「きたない声」の人はいくら発声の勉強をしても「きれいな声」にはならないのである。声楽家は先づ「きれいな声」の持主であることが第一条件である。では「きれいな声」だけでよいかというとそんなに簡単にはいかない。次に、その声が大きいホールでも後の方まで聴えるかどうか。肥っているから大きな声が出ると思うのは大間違いである。肺活量の多いのはよいが軀が大きいからボリュームのある声が出るとは限らない。ただし声帯で発音した声や口腔や鼻腔などに響鳴させる方法を練習してよく響く声にすることは出来る。これが発声練習である。第三にはオペラのように二時間も三時間も唱い続けてもつぶれないか。四に音程は、(四)リズム(四)強弱、(出)フレーズ、(入)ブレス（息のとり方）そして更に(四)言葉がよくわかるか（これは器楽にはない）その上(十)詩や台詞の意味をよく理解してその内容や心を表現しているか、つまり芸術性豊かであるかどうか……となると声楽は難かしく、實際世界の人口の半分はある女性の中で、これだけの条件を立派に備えた人はどれだけあろうか、ということになる。

こんないろいろの問題を乗り越える困難さを考えたら声楽家になろうと志す人がなくなりそうだが、今のところ、減りそうもないのは、怖れを知らないためだろうか、それともやはり歌の魅力に魅せられたのだろうか。

そこで私自身のことだが、私の声帯はたしかに専門の医師が診て「弾力のあるいい声帯である」といわれたのでこの道を選んだ第一条件は先づよかつたのであろう。そして第二、第三と努力で克服できるものはすべて頑張つて来たつもりである。その努力をさせた原動力は何といっても高度な芸術性をもつクラシック音楽の魅力であった。それは声楽でも器楽でも共通のものであるが、特に声楽の難かしければ難かしいだけにやり甲斐のある世界への挑戦でもある。そして私は今も述べた声楽は器楽と違って肉体が楽器であるため、リードである声帯や全身の調整に心を配っている。私は演奏会では風邪をひいていたことがない。というのは器楽奏者は少々風邪気味でも演奏は出来るが、声楽は声帯にすぐ影響するし、熱でもあれば演奏力がグンと落ちるのは当然である。お客さんに「今日は風邪をひいていますので」なんていい訳は出来ない。私は一寸風邪の気配がすれば徹底的に薬やいろいろの方法で治すようにしている。ちょうど拳闘家が、試合の日まで最もよいコンディションに体調を整えるのと同じである。この冊子が発版される頃、私はモーツァルトのオペラ「コジファン・トゥッテ」を演っているであろう。私の最高に幸せなときである。

△声楽家▽

家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

神戸市生田区三宮町3丁目大丸前TEL神戸(39)3737(代表)  
 東京店・東急百貨店(日本橋店内1階TEL 03(211)0511  
 本店(渋谷)7階TEL 03(462)3180

晴れの日の

ウェディングケーキ



北 欧 の 銘 菓

ユーハイム・コンフェクト

本 社 ・ 工 場 ■ 神戸市東灘区東内町1(市立美術館東隣) TEL22-1164・9865  
 三宮センター店 ■ 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) TEL33-2421・4314  
 生 田 店 ■ 神戸三宮生田筋(陸上喫茶室) TEL33-0156・7343  
 さ ん ち が 店 ■ 神戸三宮地下街スイツタウン TEL39-3558

■ゴルフ特集 ① ■乾豊彦広野ゴルフ理事長が語る

# ゴルフあれこれ

乾 豊彦

きく人・滝川博司

△乾汽船KK社長・日本ゴルフ協会常任理事▽

△兵庫トヨタ自動車KK取締役▽

滝川 神戸という土地柄、ゴルフに限らず昔から第一番に外国のものが入ってきているのですが、ゴルフも日本最古のゴルフ場が六甲山にある。また世界的な名門コースである広野ゴルフ場も神戸に近い。そこで最初に、ゴルフが日本に輸入された当時のことからお話を始めていただきます。

★歴史と数を誇る兵庫県ゴルフ界

乾 一九〇三年にグルームさんが六甲ゴルフを開いて、ちょうど六年ほど前に六〇周年記念をしたのです。私が小さい頃、六甲へ行って、今の一番ホールのところではじめてゴルフを見たのですが、当時は外人が半数以上でした。それでもあの一番は一五〇ヤードぐらいある



乾 豊彦氏

と思うのですが、それが皆ヒッコリーで飛ばしてたという印象があります。しかし地理的には狭い土地で無理なところですからゴルフ場としては飽き足らなくなってきた。それで各地にゴルフ場ができて、猪名川ゴルフが来年で五〇周年になる。その横に横尾というのがあったがこれがシックスホールの練習場みたいなものだ。それと現在の垂水ゴルフだね。これが昭和七年。その垂水が頼りなくなって広野に移るのだな。その他、神戸近辺には宝塚がありました。だから兵庫県では戦前のコースとしては、宝塚、猪名川の前身である鳴尾、今の猪名川となる。広野は比較的新しく、昭和十一年にできたものである。滝川 兵庫県には日本最古のゴルフ場もあると同時に、新興のゴルフ場が実に多い。しかし、六甲ゴルフは別格としても、広野、鳴尾、小野と日本での名門コースがある。このあたりの日本全体の位置づけはどうですか。

乾 はっきりした数字は分からないが、ゴルフ場の数の上では神奈川県に次いで二番目だと思つたのです。そのわりにはいいコースが少ない。なぜかという土地が非常に狭い。それでブルドーザーで山を削る。これではいいコースができるわけがない。もともと英国では、ゴルフ場というのは牧場から変化したものです。羊の放牧地どころか、鴨越えの馬を相手にしたところを削っていいだめですね(笑)

滝川 海外のゴルフ場と比較していかがでしょうか。

乾 外国では、英国にたくさんのゴルフ場がある。その後ゴルフの中心はアメリカに移っているが、アメリカでもイギリスでも、ゴルフ場は全部自然なんですね。自然の中にある。兵庫県でも、広野、小野は比較的フラットで自然を生かしている。関西は全体に山地が多くてフラットなところが少ない。中京地方は丘が中心、一番いいのは関東ですか。これは関東平野と土質、いわゆる黒土ですね。これがゴルフ場に向いている。九州は海岸コースをうまくつくっている。正直いって、日本における神戸のゴルフコースの位置は、一、二を除いてそう重要

視されていない。

滝川 昨年、世界アマチュアゴルフの日本代表としてメルボルンへ行かれたそうですが、向うでは日本のゴルフ界をどう見ているのでしょうか。

乾 昨年の十月のことですが、驚きましたね。全く自然の中に、大森林の中にぽっかりとゴルフ場がある。メルボルンで会議があつて、ある代表から、日本では一年に二十五もゴルフ場ができるそうですが、そんなに土地があるのですか、と聞かれた(笑) 向うでは、山を削るような無理なところにゴルフ場はつくるべきでないとされているのですよ。外国のコースを見るとスケールの違いを知らされますが、それでもゴルフ場にABCの格付けがあるようです。チャンピオンシップコースから、パブリック、子供向きというように、日本でも自然にわかれてくるのではないのでしょうか。

#### ★厳禁すべし、ウィークデイのゴルフ

滝川 日本ではゴルフ人口がウナギのほりに増えているこの点、ゴルフファーマ質に変化がみられたと思うのですが、戦前とではいろいろと違ってきているでしょうね。

乾 私が広野の理事長を引き受けることになった時点で、今日の隆盛は考えられませんでしたよ。これはやはり社用ゴルフが基だと思えますね。これだけゴルフ人口が増えたのは異様ですよ。私はゴルフに関係している私の方ではウィークデイのゴルフは厳禁している。土、日曜はプライベートコンペができる。こうしないと収拾がつかなくなる。ウィークデイにゴルフをしていると、ある外人に、今日は休日か、と聞かれた(笑) 私もクラブを握ってこれ四十年になるが、戦前は、ウィークデイでは、広野で一日五人から十人ぐらいでしょうね。土曜日も練習に行く程度で五十人ぐらい、そのかわり、日曜日となると二百人ほどがゴルフをする。ウィークデイにゴルフをやるといふのは大罪を犯しているようなものです。昔の五倍の人が毎日ゴルフをするものだから、

テイグランドがハゲてしまう。それにプライベートコンペというのは、戦前にはなかった。ほとんどがメンバーでもそれもハンディ24にならないとコースに出られない。ビジターも日曜日にごく少数だけ許すほどで厳しかったのです。アメリカでもプライベートコンペはないですね。それとゴルフの仕方にしても、大体四人一組でコースを廻る。日本人みたいに、五十人、六十人がコンペで廻ることはない。そして腕もさることながら、エチケット、マナーもある程度身につけていたいただきたいものだ。古くから広野を知っている人のマナーはいいのだが、最近、法人メンバーに入った人が連れてくる人のマナーが乱れている。これは無理もないのです。誰でもゴルフはパブリックコースから始める。そうすると煙草は捨てる、ティショットの時に横から喋る、パターの時のコースに立つ、これをそのまま身につけてゴルフの腕だけが成長する。どうしても古い人達が注意して直さないとだめです。

#### ★広野ゴルフクラブハウス再建秘話

滝川 広野のクラブハウスが焼けた当時、翌年の開場までに必らずクラブハウスを建ててみせると公約され、会員からの追徴なしに建造された、との話を聞きました。



滝川博司氏

その時の苦労話を聞かせて下さい。

乾 当時の金で三万円です。クラブハウスだったので。昔ゴルフコースを一つつくるのに二十五万円はかかったものです。前の川崎重工の社長をしていた伊谷さんが理事長の頃に建てられたのですが漏電で5分の3以上が焼失した。幸いなことに、火事のある二週間前に相模原へ行って石でできたローカーを見て、広野にロッカー保険をかける気になって保険をかけていた。このおかげで焼けた方々には支払いができた。それに火災保険もかけていたので、お金の方はまあまあだったのです。一番苦労したのは、前のクラブハウスの設計者が渡辺という人でゴルフの非常にうまい人だった。当時であの建物を建てるのは渡辺さん以外にいないのです。普通の建築家ではだめなのです。それで御影のお宅を訪ねて、二回目にやっと承諾を得、私の夢でオールドイングリッシュスタイルというものをお願いした。ながらくそういう仕事を離れていた渡辺先生だったが、この広野を契機にして城陽カントリーをつくられ、最後に茨木をつくった。

#### ★不合理なゴルフ利用税

滝川 乾社長は、広野、小野の理事長です。日本ゴルフ協会の常任理事、関西ゴルフ協会の理事でもおられる。そういう立場におられて広野、また日本のゴルフ場をどう見ておられますか。

乾 ゴルフクラブも一つの営業ですからビジターをたくさん入れて回転をよくして、従業員の待遇も良くしたい。このためビジターフィーを上げれば収入は増えるのですが、幸い、広野は財政的にもゆとりがあるので案ですが新しいゴルフ場はどこも大変ですね。だから、今は電鉄会社や土地会社がゴルフ場を経営している。どんなに安く土地を買っても八億円ぐらいではできない。八年前に小野ゴルフ場を、金井知事の斡旋で頼まれていたのですが、土地が非常に安くて開場した日で二億七千万円だった。だから小野は悠々とやっていけるのです。私たち

の考えでは、ゴルフは非常に身体にもいいし、健康的だから練習場のたくさんあるパブリックコースの大きいのをつくるべきだと思うのです。そういう点で原口市長の功績は大きいと思います。神戸市がパブリックコースを持つというのは大したものです。名古屋に次いでですね

関西ゴルフ連盟の理事長をしている関係上あちらこちらと行くのですが、今年は十周年をむかえるところが八つもありますね。それから日本ゴルフ協会の常任理事も十年近くしていますが、この日本ゴルフ協会も改組してもっと全国的統一機関として再出発を考えている段階なのです。その中で、仕事をしていて一番不合理に考えていることは、ゴルフ利用税が非常に高い、ということですね。ゴルフ人口が増えて大きな財源になるものだから遠慮なしに徴税する。スポーツの中で、ゴルフだけが利用税をとられるが、会員の利用している場所は会員のものだからスジが通らない。ぜいたくの利用税というのがあるが、パブリックコースとなると、今日では大衆向きなのだから利用税というのもおかしい。これは日本ゴルフ界で、私たちにも一端の罪はあるけれどまちがっている。自分の庭で遊んでいて、娯楽利用税をとられるのがおかしいのです。これはまだまだ日本のゴルフがぜいたくなものだと考えられているところに原因がある。これは社用族が反省すべきでしょうね。

昨年、オーストラリアに行つてその感を深くしたが、日本のゴルフはまだまだせいたくすぎる。今にキャデはいなくななり、従業員も少なくなりました。

滝川 いろいろと話が發展してきましたが、最後に、日本ゴルフの技術的な面を、アマ・プロ含めてレベル的に比較すると世界ではどうでしょうか。またこれからはどうなりますでしょうか。

乾 技術という点では、私たちがゴルフを始めたころと今では格段の差があります。無論、ボールが飛ぶようになった、クラブが良くなったというのも大きいですが、それ以上に、アメリカに遠く及ばなかった日本のゴルフ

が、プロに関してはおかなりいいレベルにまでいっている。しかし、アマチュアにいたっては、まだまだ遙かに及ばない。昨年の世界アマチュアでも八位でしたか、これが最高位です。ゴルフは依然として英語をしゃべる国民が強く、アメリカ、オーストラリア、イギリス、カナダときて、続いてドイツ、日本、フィリピンと続くのだが、この上位四カ国の壁が厚いのですね。レディは全く問題になりません。これは身体からして違いますからね。アマチュアも学生時代はいいのだが、社界人になると持続できる人が少ない。サラリーマンでは日曜日しか練習ができませんからね。レディでは結婚して子供を生んで、四十才ぐらいになって再びクラブを握る。これでは勝負になりませんね。

#### ★自然を生かした広野・小野ゴルフ場

滝川 オールドゴルフファーとして、これはといえるゴルフ場をあげていただきましょうか。

乾 これはむずかしいですね。強いてあげるなら、関東では霞ヶ関、東京クラブ、それに軽井沢と那須。大洗もいいですね。中京の東山に四日市、九州では、古賀でしょう。いずれもコースが自然にマッチしていて、それぞれ景色のよさがあります。那須にしても木曾駒にしても、あれだけ自然を生かしていると、コースを肌で感じとれるのだな。もうこれからは、ゴルフ場には木があり水がなければ景色はよくならない。その点、小野はショートホールを池の廻りに持つていっているので変化に富み面白いコースだ。それでも小野は二十二万<sup>㎥</sup>の土量を動かしてつくったコースだが、その点、広野は機械力でなく手で開発した強みがある。日本にゴルフ場は数あるが、それだけに、ゴルフは広野を見て死ぬ、といわれる風格のあるゴルフ場を近くに持つていことは、神戸っ子として大いに誇りに持つていいことだ。

## 経済ポケット ジャーナル



### ★印刷センター完成

昨年十一月から建設中だった神戸印刷センターが完成し、去る九月二十七日、同センターで完成祝賀会が開かれた。

この神戸印刷センターは神戸市東灘区魚崎町の東部第三工区に建設され、工費約四億円で、市内の中小印刷工場が入る共同工場の本館と、応接室、娯楽室、社員寮のある印刷センター会館の別館からなり、冷暖房完備のデラックスなビル。中小印刷業者が協業化するのをはじめ、これに

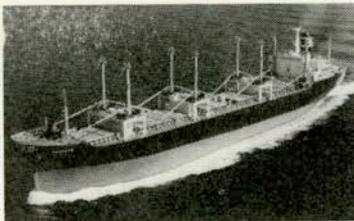


神戸印刷センター全景

よって印刷業界の近代化ははかられるとともに、経営状態も好転するものと各方面より注目されている。

なお祝賀会には金井知事、原口市市長らの祝辞が寄せられ、砂野神戸商工会議所会頭の姿も見え、式の後、パーティーで今後の活躍を祝し合った。

### ★ノーチラス号 三菱重工神戸造船所にて引渡される



ノーチラス号

去る九月二十七日三菱重工神戸造船所において貨物船ノーチラス号の引渡式が行なわれた。  
この貨物船はリベリヤの

ネプチューン社から受注した同型二隻の第一船である。主要目は、長さ一四〇・二〇八呎、幅二一・九四六呎、載貨重量トン数一七、八七六t。主機関に三菱MANディーゼル機関一基が備えつけられている。この船の特徴は垂直型船尾といつて船尾が垂直になっている。処女航海の後、雑貨の輸出入船として活躍す。

### ★狩野神戸市助役誕生



狩野 助役

有岡道信氏の急逝、また宮崎辰雄氏が市長立候補のため引退し、空席になっていた助役に、九月二十六日付で狩野学氏(57)が就任した。狩野氏は昭和十六年東京帝国大学法学部を卒業、翌十七年市役所に入り、人事理財関係を経て昭和四十

四年総務局長となり、このたび、助役に就任した。★神戸J.C.広報委員会に最優秀賞

★去る十月五、六日の二日間、新潟県で、日本青年会議所(J.C.)主催の、今年度広報活動賞の審査会が行われ、全国四百J.C.が参加神戸J.C.広報委員会(岸本晃一委員長)に最優秀賞が贈られた。これは、その年のJ.C.広報活動に最も功績のあった団体に贈られるもので、神戸J.C.の対外向け広報誌「若い力」や掲示板の設置、ケンスイ幕、ポスターの利用、地元誌とのタイアップなどマスコミへの積極的なアプローチを通じ一般市民へのJ.C.認識、理解を高めたことが高く評価されたもの。神戸J.C.の広報活動は海外でも高く評価されており、今回一応全国一広報委員会の折紙がつけられた。来年度のコンフェレンスに参加すると張切っている。

### ★KOBE オフィスレディ★



山本 幹子 (24)  
神港倉庫株式会社 社長室秘書

学生時代は、フィギアのキャプテンをつとめ水泳の方は浮く程度だったそうだが、今夏は、YMCAでヤングレディの水泳の特訓をうけるなどスポーツ精神旺盛? しかし、4才の頃から習っている日舞(花柳流)が体質に合っているのか現在も続けている。英会話をはじめたが、まだまだスケートのように滑らかに喋れないワ、とロングヘアから語る顔が可愛く印象的。西宮市在住。 41年度山手短大英文科卒業



本格派のあなたに

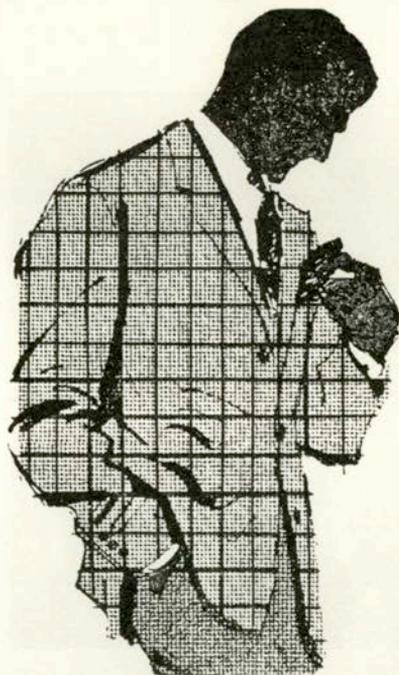


O-SHIBATA



柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 神戸 34-0693  
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106



西ドイツ製ネクタイ

日本販売元

元町バザー

神戸・元町1丁目 TEL (33) 1401-7031  
東京・東急百貨店 渋谷・日本橋

おしゃれな本格派のめがね  
豊富な輸入フレームの  
中からお選び下さい



\* 光の量に応じて色の濃さが変わるレンズ  
ニコンフォトグレーをおためし下さい

★

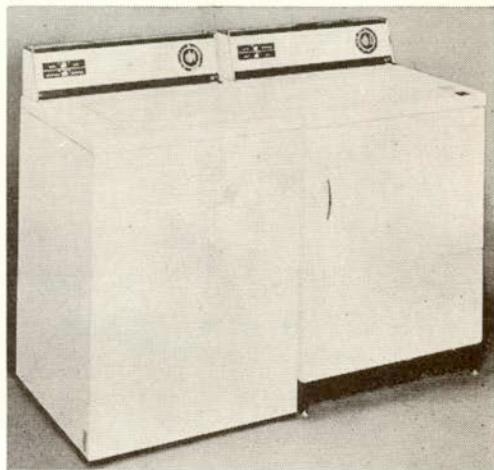
顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般

**服部メガネ店**

神戸・大丸前 TEL.33-1123

GENERAL  ELECTRIC

世界的GE社が誇る  
夢の洗濯機



貴女はスイッチを入れるだけ

輸入家庭電化製品

神戸唯一のGE特約店

輸入電化製品の  
修理も致します

**リイチ産業株式会社**

三宮・トア・ロード TEL (078) 33-8673

# まいるーむ まいしよっぷ

## あなたはどんな家具をお望みですか

家具には3つの効用があります

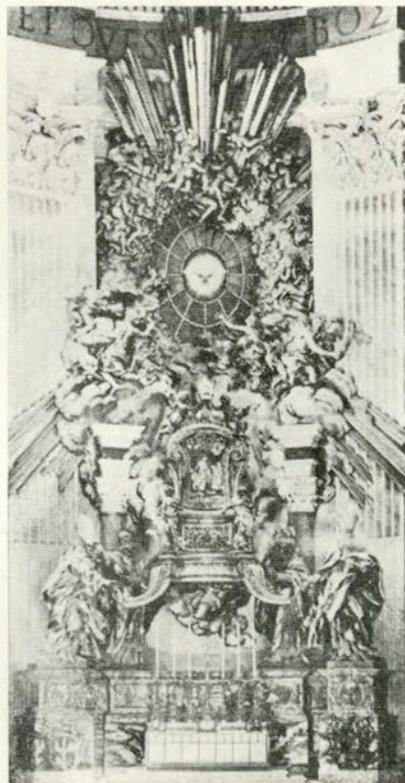
- 1つは実用的効用
  - 1つは社会的効用
  - 1つは美的効用
- であります

それらの効用でどれを主体とするかによって  
また、生産方式のちがい、  
材質の特性をからませることによって  
バラエティに富んだ品物がはんらんしている  
のです。

インテリアライフではあなたのお部屋にぴったりの家具を選んでいただくために優秀なるデザイナーがいつも相談に応じております。

ここに1つのおもしろい例があります。

この椅子はまったく社会的機能だけのために作られたすわられざる椅子であります



ローマサンピエトロ寺院 聖ペテロの椅子





■上2つは●トア・ロード商店街、山から海への傾斜が個性をあらわしている。

■左 ●トア・ロードと大丸前商店街との接点

■下 ●トア・ロードとセンター街との接点



トア・ロードは、タテのショッピングストリートです。神戸の魅力の焦点一山と海をつなぐ道です。そのタテに直交するかたちで、ヨコの元町と三宮の商店街が延びていきます。三宮も元町も、長いコンクリートの壁ビルに建て変って、ショッピングと同時に六甲山の線をのぞくことができなくなってきました。それに、ストリートは、空の青さからも閉ざされています。

それにひきかえ、このタテの道は、坂をぶらぶら楽しみながら、緑の四季の変化と光る海が直接眼に入ります。

三宮も元町も、固定的なかたちでマンモスショッピングセンターとして人工化してしまった現在、このトア・ロードこそ、神戸の街の自然の良さを十分にうけとめた高級ショッピングストリートとして、生かしていきたいものです。そのためには、歩道をひろげる、そして緑の並木道とする、歩道には、カラフルなキャンバステントのひさしをつける、ショッピングストリートを南へ延ばして港までつづける、といった設計が必要になってくるでしょう。各店の2階は、サロン、喫茶、レストラン、また、その屋上は、緑と花のバルコニーをならべた高級マンション、とでもいった具合にして。(水谷顕介)

神戸のアーバンデザイン  
縦につなぐ  
ショッピングストリート

チーム・UR

③2

縦に集う人々  
その2

③②

チーム・UR

この塔のような住宅は、ある建築家の自邸として、東京の青山に建てられたものです。

新しい雰囲気のある街として、クラブや高級な店がひろがってきているこのあたりは、地価も高く、住宅はほとんど表通りから逃げ出して、経済的採算のみがある店舗や事務所ビルに建てかわっている状況です。

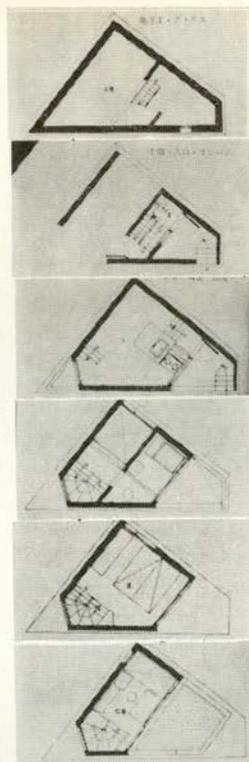
それでも、街中に住みたい、都会の息吹きを肌を感じながら生活したいという意欲が、この敷地6坪の上に細長い住宅の誕生となって実現したといえます。

一つのフロアには一つの機能しか無理という狭さで、平面図で見ると、まるで階段室に住んでいるような錯覚さえ起こしそうです。

そして、必然的にこの住居のつながりは、縦に走ります。すべてオープンにして空間とコミュニケーションの拡がりを意図していると思える設計も、この階段が文字通りコミュニケーションの重要な役割を、ここまで果たすようになることを考えて入れていたかどうか……。

写真に見るように、何かアングラ劇場にいるようで、たまたま平面のフロアに位置する人が何かの役割を演じて、階段側はそれに拍手し批判し、意見を述べる、そういう役割の所在を明解にするような人々の交換風景……、これも人々の出会いのさまざまなシチュエーションの一つですが、平面的な拡がりでとかく人々の交換の場を設定し、考えがちな傾向に、一つのショックを与えることでしょう。

(高月昭子)



▲B1  
アトリエ

▲1F  
入口・ガレージ

▲2F  
食堂・居間

▲中2F  
浴室・洗面

▲3F  
寝室

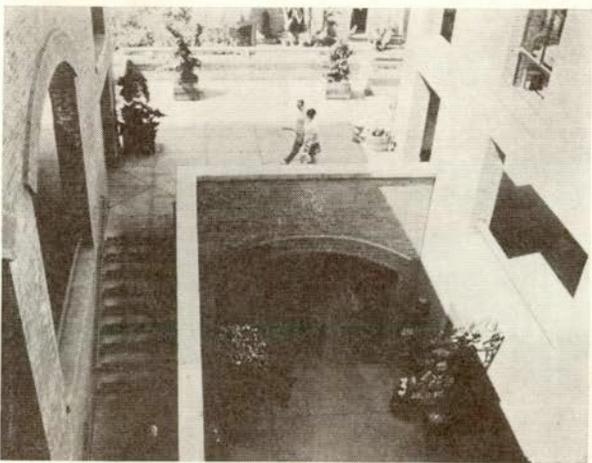
▲4F  
子供室



写真、図面はいずれも都市住宅  
6807より転載



▲ゴールデンブリッジが見えるアウトドアのレストラン



▼既存の工場を改造したキャナリーマーケット

サンフランシスコは坂の街。ダウンタウンの中心、ユニオン広場より、名物になっている昔ながらのケーブルカーに飛びのり、坂道を上ったり下ったりしながらフィッシャーマンワフ（漁師の波止場）にたどりついた。

近くに、キャナリー・テルモント工場の古びた歴史をきざむ重々しいレンガ壁を残し、その中に現代的で、魅力的な若々しい躍動する空間に生まれ変わったキャナリー・マーケットがある。

ここでは、人々が互いに他を意識し、感じあいながら集まり動き、エネルギーを発散する遊び場となっている。限られた建物の改造で、平面的な拡がりがないため、階段、エレベーター、エスカレーター等で無意識の内に上へ上へと移動するように計画されている。

ファッション、リビングアクセサリ、宝石店等フレッシュな高級店と、中庭のレストランで構成されており、生活を楽しむ人や流行を求める若者で、活気に満ちあふれている。

建物の間にある中庭には、アウトドアのレストランがあり、サンフランシスコの海でとれる、新鮮なエビ、カニ類の味覚に舌づつみをうちながら見るゴールデンブリッジも、また素晴らしい。

新しいものを造り出すために、古き良きものが無視され、破壊されていく現在、古いものと新しいものを調和させ、魅力的な空間を生みだしたキャナリーマーケットは、これからの空間に対する創造力を刺激するものがある。（安藤忠雄）

## 世界のショッピングセンター② 工場からモダンマーケットに

チーム・UR

シカゴ太陽の沈まない街  
世界の都市雑誌から  
②

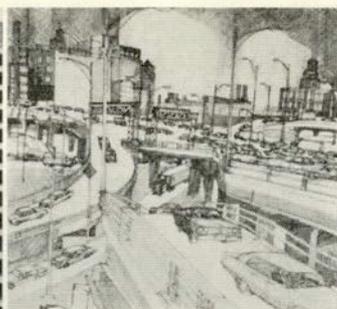
チム・UR

地域の発展にいかに関心をもち貢献するか、という姿勢いかに、これからの企業を判断する一つのバロメーターになってきています。「CHICAGO」にも、そういった観点からみて、いろいろ参考になる企業PRが出ていました。THE PEOPLES GAS という企業は、ガス会社ですが、シカゴが面するミシガン湖沿岸 (Illinois Shore) の工業地が、24時間活動できる適地であることを、自分の会社のエネルギー供給とあわせてPRしています。また Common Wealth Edison Company という電気会社は、シカゴの高速道路では、その照明の結果、太陽が沈むことがない、というせりふをかかげて、電気料金が安く、輝かしい新しいアイデアがわきでる場所としてのシカゴを、PRしています。

Northern Illinois Gas Company これもガス会社ですが、北部イリノイの技術開発センターになりうる秀れた立地条件をもった工業団地をPRしています。また、Chicago Sun Times /Chicago Daily News は、シカゴが全米第2の大学都市であることをアピールしています。すなわち、シカゴ大学、イリノイ大学、イリノイ工科大学など58の単科大学や総合大学が、シカゴの頭脳を育てていることを。

(水谷顕介)

Chicago, Autumn 1967, Autumn 68

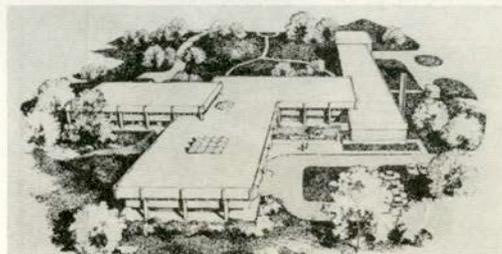


▲Chicago is where the sun never sets on the expressways.



▼イリノイ大学

▼The Chemplex formula for the ideal plant site. suburban northern Illinois.



おしゃれな装いは  
マキシンの帽子から



マキシンの帽子のおもとめは  
全国有名百貨店でどうぞ!

婦人帽子

マキシンの

神戸・トアロード 東京・銀座3-2  
TEL(078)33-6711-3 TEL(03)535-5041

シックなあなたを  
創る装苑



Soen 装苑

藤井 まつ子

大丸前店-生田区三宮町3丁目17 (33)7550  
京町店-生田区三宮町1丁目17 (33)2038  
六甲店-灘区將軍通3丁目16 (87)8303